

7 安全・安心

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
児童が安全で安心して学ぶことのできる環境が整備されている	前期	良好	良好	自転車乗車時にヘルメットを着用している児童を多く見かけるようになった。今後は、学校に行くとき以外でも着用するよう、また低学年の児童も着用するよう保護者に働きかけてほしい。 地区内で、危険なことをしている児童を見かけることはなかったが、ちくないのどんな場所が危険なのか、実際に現場で児童が確認することも検討してもらいたい。 学校前の市道の除雪を学校でもやってくれているのはありがたいが、関係機関に通学路であることに配慮するよう働きかけて欲しい。
	年度	良好		
評価指標			主な取り組み	自己評価B
				前期 年度
⑭安全確保とリスクマネジメント体制の構築			校舎・校地の安全管理、交通安全指導、警察・地域生研との連携、地区巡視	4 4
			学校安全計画、災害時対応マニュアル・危機対応マニュアルの共通理解	4 4

学校の改善策	【前期→後期】 ⑭校舎・校地の安全管理について、毎月の安全点検の際に校庭の遊具等の点検も実施していければ、さらに安全意識が高まると思う。(生徒指導部で要検討) ⑭災害や犯罪に対する危機意識が希薄にならないように、様々な災害を想定して今後も避難訓練、防犯教室などを実施して教職員も児童も確かな対応ができるようにしていきたい。 ⑮地区子ども会などで確認してる事だが、各地域の危険箇所の認識がやや甘い数値となっている。口頭で確認するだけでなく地域の危険箇所一覧などを作成し、児童はもちろんだが、保護者や地域の方々にも把握してもらおう手立てがあってもいいと思う。年に一回程度、学校報や学年だよりで保護者や地域の方々に危険箇所の情報提供を呼びかけるのも一つの
	【後期→次年度】 ⑭ 避難訓練、交通教室、防犯教室などの安全指導に関しては保護者、職員共に肯定率が高い。次年度以降も計画的に安全指導に努めていきたい。 ⑭ 自転車に関して、ヘルメットの着用と自転車の乗り方のマナー(自転車に関する交通法規の学習)は次年度以降、指導を強化していかなければならない。 ⑭ 何か事故が起きてからでは遅いので、校庭の遊具の点検に関して、来年度は教室等の安全点検と同じように点検表を作成して確実に安全点検を実施していきたい。(来年度復活する保体部担当とする。)

【各種データ】							
保護者アンケート				前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率		
⑰	学校では、避難訓練や交通教室等、安全指導を適切に行っている。	3.6	98	3.6	100		
⑱	校舎内外の施設設備は、子どもが安全に生活し、学習しやすい環境になっている。	3.2	91	3.2	86		
児童アンケート				前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率		
⑥	登下校や自転車乗りでは、交通ルールをよく守っていますか。	3.7	95	3.7	94		
⑦	自分の住んでいる地区で、危険な場所はどこか分かりますか。	3.5	83	3.6	90		
職員個人評価				前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率		
⑭	校舎・校地の安全管理、交通安全指導、警察・地域生研との連携、地区巡視	3.3	100	3.3	100		
	学校安全計画、災害時対応マニュアル・危機対応マニュアルの共通理解	3.1	100	3.1	100		

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80~90%、前年度比103~107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60~79%、前年度比98~102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50~59%、前年度比93~97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下